

初夏のガーデニング

本格的なガーデニングの季節到来です☆初夏の旬な植物5書類を紹介します！

①ハイビスカス



和名 ブッソウゲ
分類 アオイ科
原産地 南太平洋諸島
開花時期 5月～11月

<育て方のポイント>

冬は室内で管理する
日光によく当てる
根づまりしやすいので、1年に1回植え替える

日光にはじゅうぶんに当てましょう。

ただし、30 以上の高温が続くと株が弱ってしまいますので、なるだけ風通しのよい涼しい場所を選びましょう。真夏をのぞいては、直射日光下で管理します。在来種は低温にも強く5 程度の気温があればじゅうぶん越冬できますが、室内で10 以上の温度を保てる場所で管理したほうが無難です。

<水・肥料>

生育期は乾いたらたっぷりと与えます。とくに開花中は水切れをおこさせるとつぼみが開く前に落ちてしまうため、気をつけましょう。一年を通して土の表面が乾いたらたっぷりと与えるようにします。5 から10月に10日に一回くらいの割合で、水で薄めた液体肥料を与えます。冬は肥料を与える必要はありません。

② ランタナ



和名 シチヘンゲ
分類 クマツヅラ科
原産地 亜熱帯アメリカ
開花時期 5月～10月

<育て方のポイント>

日当たりがよい場所を好む
葉が水切れに弱い
さし木で増やせる

真夏のカンカンでりにもよく耐える強い耐暑性を持ちますが、日当たりがよければよいほど花はよく咲きます。冬は切り戻しをおこない、軒下や室内で霜に当てないように管理します

③ アガパンサス



和名 ムラサキクンシラン
分類 ゆり科
原産地 アフリカ
開花時期 6月中旬～7月末

<育て方のポイント>

日当たりで育てる
水をやりすぎて過湿にしない
冬は霜よけをすると春からよく育つ

日光がじゅうぶんに当たる場所がいちばんですが、午前中いっぱい日があたれば、午後は日陰になる場所でもよく育ちます。真夏の直射日光は強烈で葉が焼けてしまうこともありますので鉢植えの場合は明るい日陰で育ててもよいでしょう。

寒さには比較的強く霜で葉が枯れても根の状態でも - 10 くらいまで耐えることができます。地植にしている場合は寒さが心配な場合は掘り上げて鉢植えにして保護するか腐葉土などを地表に厚くかぶせて根を寒さから保護します。

④ アブチロン



別名 ウキツリボク

分類 アオイ科

原産地 熱帯 亜熱帯

開花時期 3月～9月

<育て方のポイント>

日当たりのよいところで管理

アブラムシがつきやすいので注意

1～2年に1回が植え替えの目安

日当たりがよく、風通しのよいところがいいでしょう。夏の直射日光が、ガンガン当たるところのほうがむしろベスト。冬に室内に置く場合も窓際がいいでしょう。軒下でも大丈夫ですが、日陰は逆に花付きが悪くなるので、避けましょう

⑤ サルビア類



別名 ヒゴロモソウ

分類 シソ科

原産地 北米 南米 アジア

開花時期 7月～10月

<育て方のポイント>

日当たりを好む

真夏に乾燥させない

発芽温度が高いため、早まきはしない

咲き終わった花穂をそのまま残しておくと、見栄えも悪い上に株が弱りますので枯れた花穂は切り落としましょう。

また、真夏の高温多湿時期は生育が衰えて花が付きにくくなるので、ひととおり花を楽しんだら一旦草丈を1/3ほど刈り込んで風通しをよくしましょう。秋に涼しくなると茎が伸びてきて再びきれいな花を咲かせます。ちなみに冷涼な気候の地域では真夏も休まず元気に花を咲かせ続けていることがよくあります。